

時代が変わった今だから わかることがある。 今だから 見えるものがある。

ブックフェア いま、学びなおしたい性の話 展



性教育研究者

村瀬幸浩 さん

profile

元和光高等学校教諭。元一橋大学非常勤講師、
元津田塾大学非常勤講師。

1941年（昭和16年）名古屋市に生まれる。

“人間と性”教育研究協議会会員。

日本思春期学会名誉会員。

性教育にとりくんできた想いや、 そのきっかけは何ですか？



中学・高校6年間、男子校育ちの私にはまともな性の学び体験は皆無という状態でした。いや、男子校だからというのではなく男子、男性にとってはどの学校でもほぼ同様だったと思います。

その私が現在のような、比較的伸びやかな性意識と性の関係づくりの力を持てるようになったのは**結婚後、妻との葛藤を通してともに性について考え、交流しつつ自らの学習を重ねてきた**ことに依っています。

これまでにくらべはるかに長く生きることになった現在そして将来、**性の学びは生涯続けるべき大きな人生課題**になってきました。



性教育研究者 村瀬幸浩さん

Update !

Recommended by



学びのサポートBOOKS

01

一般

『「素敵にパートナーシップ」～40歳からの性と生～』

村瀬敦子・村瀬幸浩（著）大月書店 1997年



性教育というと取り上げられる中身はわかりやすい生理学、医学となりがち。この本は人間関係のあり方、関係づくりの観点から取り上げられている。『「素敵にパートナーシップ」～40歳からの性と生』、つまり人生後半をパートナーとどう生きるか、問うている本である。

02

一般

『50歳からの性教育』

村瀬幸浩・高橋怜奈・宋美玄・太田啓子・松岡宗嗣・斉藤章佳・田嶋陽子（著）河出書房新社 2023年



50歳はほぼ閉経年齢。男性も性欲の減退など更年期に直面することの多い年齢である。それからの何十年、どのように関係を紡いでいくのか、いったん立ち止まって各分野の専門家の提言にジックリ耳を傾けてみる必要がある。

03

一般

『セックス難民 ピュアな人しかできない時代』

宋美玄（著）小学館 2019年



セックスしたいけどできない人生を“セックス難民”と名づけたと著者はいう。性産業は「過密」だが性関係は「過疎」といわれるわが国。高齢化がすすむ中で望ましい性のあり方を具体的な手法も含めて示している。

04

中高生 一般

『3万人の大学生が学んだ 恋愛で一番大切な“性”のはなし』

村瀬幸浩（著）KADOKAWA 2020年



著者が大学講師時代、学生に講義した内容の概略を紹介し、それを受講した学生たちのレポートを豊富に取りあげまとめた一冊である。基礎的な学びも含め、人間にとって“性”がどうあるべきなのか、あらためて考える一助になると思われる。

MEMO

